

## 「女性局部長会」を開催

東京都連女性局長 丸川珠代



丸川珠代  
東京都連女性局長

東京都連女性局は11月5日、参議院議員会館講堂で女性局部長会を開催し、約100人が参加しました。

初めに、中川雅治参議院議員はあいさつで、「東京2020五輪・パラリンピックの開催が日々迫ってきている。国民の皆さまが大いに盛り上げて、大会を成功に導くことが大切。今回の部長会では、松島みどり広報本部長の講演や東京五輪音頭



中川雅治参議院議員

「2020」の練習を通して、五輪・パラリンピックへの理解を深める契機にしてほしい」と述べました。

続いて松島みどり広報本部長が登壇し、東京2020五輪・パラリンピックの日程やチケット販売等について説明した後、昭和39年（1964）の東京五輪を振り返り「当時、私は小学2年生で、国際感覚が高まり、本当にワクワクしたことを覚えている。同じような感覚を、2年後の大会で子供たちや若者に感じてもらいたい」と語りました。

また、今年4月に発足した「盆踊りとラジオ体操で東京五輪を盛り上げよう」議員連盟の会



松島みどり広報本部長

長に就任したことに触れ、「盆踊りは日本だけではなく、タイやマレーシア、ポーランドなど海外でも行われている。また、ラジオ体操はいつでも、どこでも、誰もが手軽にできる健康体操で、日本の健康長寿の源にもなっている」と解説しました。さらに、議連の目標として「五輪の開会式でラジオ体操、閉会式で盆踊りを披露し、日本の伝統文化を世界にアピールすること」と意気込みを語りました。



「盆踊りとラジオ体操で東京五輪を盛り上げよう」議員連盟事務局長の山田美樹衆議院議員も参加



司会を務めた山中みどり墨田総支部女性部長（左）と木内安子千代田総支部女性部長（右）

そして、一般社団法人東京都民踊連盟の講師の指導のもと、「東京五輪音頭2020」の練習が始まりました。まず、講師が音楽に合わせて踊りを実演。その後、講師の振り付けに合わせて、参加者も一緒に踊りを練習しました。見よう見まねながらも、次第に動きが様になってきて、上手に踊れると会場から一斉に拍手が。振り付けには、2020を手で描いたり、背泳ぎのように手を後ろに回したり、砲丸投げのように片腕を伸ばしたりする動きがあり、松島広報本部長は「競技を連想しな



東京2020五輪・パラリンピックの資料を読む参加者たち

楽しく踊るコツは、  
みんなと一緒に  
リズムに乗って  
手足を動かすことです



一般社団法人東京都民踊連盟の講師3人が東京五輪音頭-2020-を披露。参加者も掛け声や手拍子で盛り上げる

「振り付けの意味が分かって楽し  
り上がりました。参加者からは  
がらの熱気に包まれ、大いに盛  
て踊り、会場は盆踊り大会さな  
最後は参加者全員で輪になっ  
バイスします。」とアド  
覚えることができます」とアド  
がら踊ると、楽しく振り付けを



「東京五輪音頭-2020-」の講師を務めた東京都民踊連盟の渡辺恵美子さん(左)、三浦早苗さん(中央)、川田真美子さん(右)

「二人でも多くの人に東京五輪音頭を踊ってもらいたい。そのため、今後、振り付けの動画を収録したDVDやCDの配布を呼び掛けていきたい。そして今回、踊りを覚えた皆さんが、それぞれの地域で東京五輪音頭を広めていただきたい」と述べ、東京2020五輪・パラリンピックに向けて東京五輪音頭2020の普及に意欲を示しました。

「もっとスムーズに踊れるように練習したい」などの声が聞かれました。

最後に、松島広報本部長は



松島広報本部長と山田衆議院議員が中心となって、参加者と一緒に踊りを練習



会場内で輪になって踊ると、自然と一体感が生まれた



踊りに登場する「ハッピー&ピース」のポーズをする松島広報本部長